

石関プレジジョン(高崎市箕郷町矢原)は精密なプレス加工を売りに、全国の有力企業から仕事を受注している。「現代の名工」であり、第3回ものづくり日本大賞の内閣総理大臣賞を受賞した石関誠二社長こそが技術力の源だが、若手社員に対しても「失敗をしろ、それを生かせ。それが力になる」と励まし、育成に努めている。(報道部 斎藤洋一)

戦略

他社にできない
プレス加工実現

「社是の一つに『世界一の製品をつくり、社会の発展に貢献する』とある。ものづくりに必要の業に力をつけて大切な点だ。うちは歴史の浅い会社。それでも技術があることで仕事を獲得できている。他社にはまねできない、世界一の製品だ」とある。例えはLEDの根元の金属部分。複雑に波打つ円錐形の部品を、一枚の金属板からプレス機で作れないかと、大手電機メーカーから依頼があった。同様の部品はこれまで、溶かしたアルミを型に流し込んで固める「ダイカスト」で造られていたが、プレスなら重さは10分の1になる。アルミの材料費も削減できることができた。今までにない形状で、難しい挑戦だったが成功した。年内にも市販が始まる予定だ。ほかの大手メーカーからは燃料電池に使う細かい網状の部品を要求された。国内の30社に同様の試作依頼が出されたが、「やれる」と答えたのはプレジジョンだけだ。

石関 誠二社長



「創意工夫の詰まった製品作りが、社員と会社の存在価値につながる」と語る石関社長

失敗を積み重ね
世界一の製品を

「バリが発生するものだが、メーカーの要通りバリを防ぐこともできず、来月4月にこの部品を使った製品が販売される。製造業の生産拠点が海外へ移っている。プレス業界も仕事の獲得が厳しいだろう。業界全体は確かに厳しい。ある程度の品質があっても、コストを下げないと海外に仕事を取られてしまう。人件費の高い国内ではお手上げになる。受注の価格競争にならないためにも、技術力を高めることが大

決断

群馬の経済人

ライバーとしてレースに参加してはならない。ほとんど自分の手作業で改造していた。会社のフォークリフトを使って車のエンジンを取り出してチューニングしたことがある。思い出に残っているのは1988年に筑波サーキットで行われた長時間耐久レース。前半1時間の終了間際にブレーキパッドが壊れてしまった。休憩時間には交換しようとしたが予備のパッドを持っていなかった。サーキットの売店にも在庫がなかった。あきらめかけたが、リタイアした同じ車種から借りられるかもしれないと思いつき、実際に借りることができ、後半に参戦。優勝できた。レースも仕事もいろいろなハプニングは付き物。それでもさまざまな角度から対

引先の仕事依頼を見て、自分の頭の中では作り方が分かっていても、社員に任せている。社員はロボットではない。ただ言われた通りに作るのではつまらない。人間は考ええる力を持っているのだから、創意工夫に努めるのが良い。そうすれば社員も会社も、世の中に必要とされ、存在価値につながる。

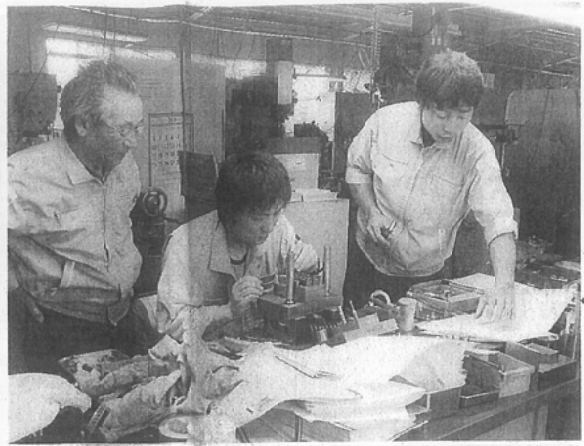
情熱

レースも仕事も
最善尽くし結果

「若いころは車を改造し、自分で

若い技術者が真剣な表情で金型製作に取り組む石関プレジジョンの工場

ライバーとしてレースに参加してはならない。ほとんど自分の手作業で改造していた。会社のフォークリフトを使って車のエンジンを取り出してチューニングしたことがある。思い出に残っているのは1988年に筑波サーキットで行われた長時間耐久レース。前半1時間の終了間際にブレーキパッドが壊れてしまった。休憩時間には交換しようとしたが予備のパッドを持っていなかった。サーキットの売店にも在庫がなかった。あきらめかけたが、リタイアした同じ車種から借りられるかもしれないと思いつき、実際に借りることができ、後半に参戦。優勝できた。レースも仕事もいろいろなハプニングは付き物。それでもさまざまな角度から対



石関誠二社長が2002年2月、高崎市箕郷町矢原の現在地に設立。電子、電機製品の金属部品用の金型を設計・製作し、プレス加工で生産する。従業員18人。年間売上高は2億円。

顧客の「夢」の
実現を手伝い

「夢」が実現するまでには、技術力を高めることが必要だ。言い換えれば、技術力を高めることで、日本にもものづくりを残すことができる。難しい製品に取り組み始め、社長は域に到達するまでには険しい道のりが続く。社員には「失敗を積み重ねろ」と言っている。ただし、その原因を突き止めて、次に生かすなくてはダメ。それができれば自分の力量が上がる。取

独学でメッキ処理研究

あの時

父が経営する石関工務に入社する。製造部門から営業までありとあらゆる仕事を任された。その一つがメッキ処理をする会社との取引。東京まで製品を運ぶ。メッキ処理が終わると引き取りに行っていた。商談の件数や商品の輸送費がかさむため、「自社でメッキをやろう」と決断した。本を読み、独学でメッキ処理を研究した。設備を整え、さっそく試したがまったくメッキが付かなかった。